



41:1 あなたは釣り針でレビヤタンを釣りに上げることができるか。輪縄でその舌を押えつることができるか。
 41:2 あなたは葦をその鼻に通すことができるか。鉤をそのあごに突き通すことができるか。
 41:3 これがあなたに、しきりに哀願し、優しいことばで、あなたに語りかけるだろうか。
 41:4 これがあなたと契約を結び、あなたはこれを捕えていつまでも奴隷とすることができるか。
 41:5 あなたは鳥と戯れるようにこれと戯れ、あなたの娘たちのためにこれをつなぐことができるか。
 41:6 漁師仲間はこれを売りに出し、商人たちの間でこれを分けるだろうか。
 41:7 あなたはもりでその皮を、やすでその頭を十分に突くことができるか。
 41:8 その上にあなたの手を置いてみよ。その戦いを思い出して、二度と手を出すな。
 41:9 見よ。その望みは裏切られる。それを見ただけで投げ倒されるのではないか。
 41:10 これを起こすほどの狂った者はいない。だから、だれがいったい、わたしの前に立つことができるか。
 41:11 だれがわたしにささげたのか、わたしが報いなければならないほどに。天の下にあるものはみな、わたしのものだ。
 41:12 わたしは彼のおしゃべりと、雄弁と、美辞麗句に黙っていることはできない。
 41:13 だれがその外套をはぎ取ることができるか。だれがその胸当ての折り目の間にはいれるか。
 41:14 だれがその顔の戸をあけることができ

るか。その齒の回りは恐ろしい。
 41:15 その背は並んだ盾、封印したように堅く閉じている。
 41:16 一つ一つぴったりついて、風もその間を通らない。
 41:17 互いにくっつき合い、堅くついて離せない。
 41:18 そのくしゃみはいなずまを放ち、その目は暁のまぶたのようだ。
 41:19 その口からは、たいまつが燃え出し、火花を散らす。
 41:20 その鼻からは煙が出て、煮え立つかまや、燃える葦のようだ。
 41:21 その息は炭火をおこし、その口から炎が出る。
 41:22 その首には力が宿り、その前には恐れが踊る。
 41:23 その肉のひだはくっつき合い、その身にしっかりついて、動かない。
 41:24 その心臓は石のように堅く、臼の下石のように堅い。
 41:25 それが起き上がると、力ある者もおじけづき、ぎょっとしてとまどう。
 41:26 それを剣で襲っても、ききめがなく、槍も投げ槍も矢じりもききめがない。
 41:27 それは鉄をわらのように、青銅を腐った木のようにみなす。
 41:28 矢もそれを逃げさせることができず、石投げの石も、それにはわらのようになる。
 41:29 こん棒をもわらのようにみなし、投げ槍のうなる音をあざ笑う。
 41:30 その下腹は鋭い土器のかけら、それは打穀機のように泥の上に身を伸ばす。
 41:31 それは深みをかまのように沸き立たせ、海を香油をかき混ぜるなべのようにする。

41:32 その通ったあとは輝き、深い淵は白髪のように思われる。
 41:33 地の上には、これと似たものはなく、恐れを知らないものとして造られた。
 41:34 それは、すべて高いものを見おろし、それは、すべての誇り高い獣の王である。

私たちは自然界のものを当たり前に行っていることによって、創造主の力を忘れてしまいがちです。ここに述べられている自然界のの前に自分が小さな存在であることを認めて、謙遜になりましょう。そして主の力の前にひれ伏し、従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

